

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	シエル		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	よりよい支援にするための質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものちいさな変化にも気づき、支援方法を柔軟に見直している。</li> <li>・個々の発達段階や特性に合わせた個別支援を職員間で共有しながら実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、関係機関とも情報共有を強化しより良い支援につなげていく。</li> </ul>
2	強固なチーム力での支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の情報共有がスムーズで日々のミーティングなどで支援方針を確認できている。</li> <li>・職員同士が相談しやすく、意見交換をしながら支援の質を高めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担を明確にしながら、職員全体で子どもの支援に関わる体制を整えていく。</li> </ul>
3	保護者との連携やコミュニケーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのコミュニケーションを大切にし、日々の様子を丁寧に伝えている。</li> <li>・保護者の困り感や不安に寄り添いながら相談しやすい関係づくりを心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が気軽に相談できるよう、日頃からコミュニケーションを大切にする。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	系列の事業所と比べると経験が浅い	職員によって支援の経験や知識に差がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の充実や他事業所の情報を共有する。</li> <li>・外部研修で得た知識や支援方法を職員間で共有し、事業所全体の専門性向上へつなげる。</li> </ul>
2	保護者同士の交流の機会が少ない	法人全体では「よねたや祭り」を開催し、保護者の交流のきっかけとなる機会を設けましたが、事業所内では時間の調整などが難しく実施できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事やイベント等の機会を活用し、保護者同士が自然に交流できる機会を検討していく。</li> </ul>
3			